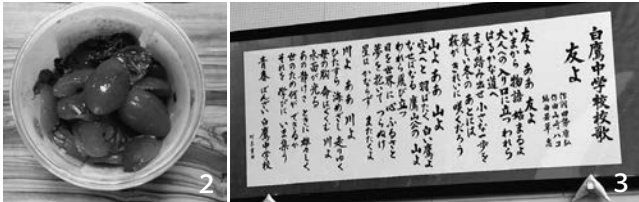


青木実氏、上原恭子氏、田勢康弘氏が  
白鷹町観光交流大使に再任

6月30日、白鷹町観光交流大使委嘱書交付式が町長室で行われ、平成26年度から町観光交流大使として活動してこられた青木実氏、上原恭子氏、田勢康弘氏が再任され、町長から委嘱書が交付されました。委嘱期間は平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間です。

物産振興への助言やサポート、さらには地域ブランド「SHIRATAKA RED」や、ミニトマト「アイコのキムチ」の発案、白鷹中学校校歌の作詞などを手掛けていただけてきました。  
 今後は、「日本の紅(あか)をつくる町」のさらなる観光交流推進に向け、引き続き白鷹町の魅力発信にお力添えをいただきます。



1. 観光交流大使に再任された3名に、4月1日付で佐藤町長より委嘱書が手渡された 2. 6次産業化への取り組みとして、上原さんによって開発された「アイコのキムチ」 3. 田勢さん作詞の白鷹中学校校歌「友よ」。この歌の完成から白鷹中学校の歴史が始まった 4. 青木さんデザインの「SHIRATAKA RED」のロゴマーク

メッセージ



田勢康弘さん  
ジャーナリスト  
(神奈川県在住)

ふるさととは何か。そこでどれだけの期間住んだかではなく、どれだけ思いが深いかだと思います。わずか3ヶ月でも、僕の人生は白鷹で枠組みができたと思います。一番影響を受けた先生は荒砥中時代の先生で、今でも会いに行きます。

白鷹町応援団の一員として、おもしろいアイデアを提案して行きたいと考えています。



上原恭子さん  
クッキングインストラクター  
(東京都在住)

「白鷹町は宝の山」、江戸っ子の私が2年間白鷹町観光交流大使を務めて一番感じたこの言葉。最近山形出身？と聞かれることも多くなり、第二の故郷になりつつあります。

再任の2年間でさらに白鷹町の魅力を見つけ、首都圏や他の地域の皆様にその魅力をお伝えし、アイコのキムチのほかにも何か形にできればと思っています。



青木実さん  
会社役員  
(東京都在住)

「田舎です、うらやましいでしょ。…白鷹町。」

そうなんです、ボクにとって、うらやましいことがいっぱいある白鷹町です。自然や美味しいもの、東京の生活の中で忘れていたこと、何より、白鷹の人たち。

大使に再任していただいて、本当に嬉しく思います。白鷹町のキャッチフレーズを作ったり、イベントや観光誘致の企画をしたり、プロデューサー&コピーライターとしての経験を活かして、がんばります。まずは「SHIRATAKA RED」を展開しますね。